

秋田屋本店、創業220周年

記念式典 歴史振り返り 飛躍誓う

養蜂・食品製造の秋田屋本店(岐阜市加納富士町)は22日、創業220周年記念式典と祝賀会を岐阜市柳ヶ瀬通のホテルグランヴェール岐山で開き、社員180人が220年の歴史を振り返りながら新たな時代に向けて飛躍を誓った。

同社は1804(文化元年、岐阜加和屋町(現岐阜

市本町)で初代中村源次郎が材木商として創業。87(明治20)年に6代目源次郎が養蜂部を創設して養蜂事業に参入した。現在はミツバチ産品や養蜂資材、医薬品の製造販売、相手先ブランドによる生産(OEM)などを手がける。従業員数は約210人、2024年8月期の売上高は約83億



創業220周年記念祝賀会であいさつする中村浩康社長
＝岐阜市柳ヶ瀬通、ホテルグランヴェール岐山

円。

祝賀会で中村浩康社長が「ミッションであるミツバチに学び、人と社会に幸せを運ぶを目指して頑張っていこう」とあいさつした。祝賀会に先立って開かれた記念式典では、中村源次郎会長が同社に残っている古い写真をスライドで見せながら220年の歩みを紹介した。